

## 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 16 年 2 月 5 日

会 社 名 株式会社ルネサンス

（コード番号：2378 登録銘柄）

（URL <http://www.s-re.jp>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 齋藤 敏一

問い合わせ先 責任者役職名 取締役経理財務本部長

氏 名 渡邊 清 （Tel : (03) 5600 - 5411）

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における方法 : 無

との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

公認会計士または監査法人による関与の状況 : 記載している財務諸表について、監査法人の監査は受けておりません。

### 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 注：金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	17,600	(12.4)	1,498	(16.4)	1,410	(14.8)	804	(18.4)
(参考)15 年 3 月期第 3 四半期	15,652	( )	1,287	( )	1,228	( )	679	( )
(参考)15 年 3 月期	20,995		1,743		1,654		862	

	1 株当たり四半期 ( 当期 ) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 ( 当期 ) 純利益
	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	60.44	
(参考)15 年 3 月期第 3 四半期	1,036.83	
(参考)15 年 3 月期	1,288.71	

(注) 1. 期中平均株式数：16 年 3 月期第 3 四半期 13,310,909 株、15 年 3 月期第 3 四半期 655,000 株  
15 年 3 月期 655,000 株 期末株式数：16 年 3 月期第 3 四半期末 15,100,000 株

2. 15 年 3 月期第 3 四半期については、正式な四半期決算はしていませんが、参考として社内決算の数値を記載しております。15 年 3 月期第 3 四半期は、参考数値ですので対前年比較は行っていません。

3. 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、参考数値に基づく対前年同四半期増減率を示しております。

### (2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	15,113	3,691	24.4	277.34
(参考)15 年 3 月期第 3 四半期	13,485	1,000	7.4	1,527.38
(参考)15 年 3 月期	12,895	1,184	9.1	1,780.10

### 3. 平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	23,698	1,850	1,010	66.90

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。日本経済、競合状況、株式市況等に不透明な面があり、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日以下に同じ）におけるわが国経済は、企業収益については設備投資と輸出の増加に支えられ改善傾向が続いております。しかしながら、個人消費については、持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢は依然厳しい状態が続いており、いまだ本格的な回復までにはいたっていない状況が続いております。

当業界におきましては、健康意識の高まりを背景に堅調に推移しております。

このような状況の中、当社は直営クラブとして、4月に仙台長町南（仙台市天白区）、7月に港南中央（横浜市港南区）、10月に函館（北海道函館市）、郡山（福島県郡山市）、ふじみ野（埼玉県大井町）と計5クラブを出店し、積極的に事業の拡大を図っております。

既存クラブの取り組みとしては、今期のクラブ運営のテーマである「楽しく役に立つクラブ創り」を推進し、お客様の定着率を高めるとともに、物販や有料プログラム等会費外収入の強化を図ってまいりました。一方、個別クラブのマネジメント力の強化にも取り組み、クラブ運営の効率化も進めております。

以上の結果、当四半期の売上高は176億円（前期比112.4%）、経常利益は14億10百万円（同114.8%）、当期純利益は8億4百万円（同118.4%）と二桁の増収増益となりました。なお、事業部門別に売上高を見ますとフィットネス部門：103億45百万円（同109.4%）、スクール部門：48億2百万円（同114.3%）、プロショップ部門：11億6百万円（同119.2%）、その他のクラブ収入：10億81百万円（同149.5%）、業務受託等スポーツ施設以外の売上高：2億66百万円（同76.7%）となっております。業務受託等スポーツ施設以外の売上高の減少は、業務受託クラブであった「スポーツクラブ マックス横浜」を平成14年11月に営業を継承し、「ルネサンス天王町」として直営化したことによるものです。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当社は、平成 15 年 12 月 3 日に J A S D A Q 市場に株式を上場いたしました。これにともなう公募増資（株数 200 万株、価格 950 円）により、17 億 86 百万円の資金を受け入れました。これらの資金は一部、設備資金及び借入金返済に充当いたしましたが、残額は今後の新規出店等の設備資金に充てるため留保しております。

上場と公募増資により、自己資本比率は、当四半期末において 24.4%となり、前期末（平成 15 年 3 月末）に比べ、15.2 ポイント上昇、大幅に改善しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社は、第 4 四半期以降、既存クラブ及び新規出店クラブの活性化に、より一層注力してまいります。

平成 16 年 3 月期通期につきましては、平成 15 年 10 月 27 日に公表いたしました業績予想の通り、売上高 236 億 98 百万円（前期比 112.9%）、経常利益 18 億 50 百万円（同 111.9%）、当期純利益 10 億 10 百万円（同 117.2%）と二桁の増収増益を達成できる見通しです。

なお、当社は、平成 16 年 1 月 30 日、帝人株式会社との間で、帝人株式会社の子会社であるトーアスポーツ株式会社の全株式の譲受に関し、基本合意いたしました。今期の業績に影響はございません。

（注）平成 14 年 3 月以前に営業を開始したクラブを既存クラブとしております。

添付資料

要約貸借対照表、要約損益計算書等

以上

〔添付資料〕

1. 要約貸借対照表

(1) 資産の部

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成15年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
1 現金及び預金	1,576		313	
2 売掛金	311		210	
3 たな卸資産	327		336	
4 その他	1,139		996	
流動資産合計	3,400	22.5	1,856	14.4
固定資産				
1 有形固定資産				
(1)建物	4,229		3,844	
(2)その他	1,573		1,561	
有形固定資産合計	5,802	38.4	5,406	41.9
2 無形固定資産	759	5.0	855	6.6
3 投資その他				
(1)敷金・保証金	4,244		3,489	
(2)その他	907		1,286	
投資その他合計	5,151	34.1	4,776	37.0
固定資産合計	11,713	77.5	11,038	85.6
資産合計	15,113	100.0	12,895	100.0

## ( 2 ) 負債資本の部

( 単位 : 百万円 )

科 目	当四半期 (平成 16 年 3 月期 第 3 四半期末)		( 参考 ) 平成 15 年 3 月期	
	金額	構成比	金額	構成比
( 負債の部 )		%		%
流動負債				
1 支払手形	290		195	
2 買掛金	93		72	
3 短期借入金	4,320		4,351	
4 前受金	991		1,317	
5 賞与引当金	156		310	
6 その他	1,784		1,298	
流動負債合計	7,636	50.5	7,545	58.5
固定負債				
1 長期借入金	2,907		3,171	
2 退職給付引当金	571		636	
3 役員退職慰労引当金	128		117	
4 その他	179		239	
固定負債合計	3,785	25.0	4,164	32.3
負債合計	11,421	75.6	11,710	90.8
( 資本の部 )				
資本金	1,093	7.2	327	2.5
資本剰余金				
資本準備金	1,032		12	
資本剰余金合計	1,032	6.8	12	0.1
利益剰余金				
1 利益準備金	69		12	
2 当期末処分利益	1,495		832	
利益剰余金合計	1,565	10.4	844	6.6
資本合計	3,691	24.4	1,184	9.2
負債資本合計	15,113	100.0	12,895	100.0

## 2. 要約損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成15年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
売上高	17,600	100.0	20,995	100.0
売上原価	15,237	86.6	18,180	86.6
売上総利益	2,362	13.4	2,815	13.4
販売費及び一般管理費	863	4.9	1,071	5.1
営業利益	1,498	8.5	1,743	8.3
営業外収益	25	0.1	24	0.1
営業外費用	113	0.6	113	0.5
経常利益	1,410	8.0	1,654	7.9
特別利益				
特別損失	16	0.1	102	0.5
税金等調整前当期 (四半期)純利益	1,394	7.9	1,552	7.4
法人税等	590	3.4	689	3.3
当期(四半期)純利益	804	4.6	862	4.1

## 3. 剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	(参考) 平成15年3月期
	金額	金額
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	12	12
資本剰余金四半期末残高	1,032	12
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	844	18
利益剰余金増加高		
当期(四半期)純利益	804	862
利益剰余金減少高		
配当金	65	
役員賞与	18	
利益剰余金四半期末残高	1,565	844